

## Ⅱ. 障がい学生の大学進学に関する基本アンケート

### ・Q1 過去に障害のある生徒が在籍

平成21(2009)年度  
161校/211校(76.3%)

平成20(2008)年度  
97校/123校(78.9%)

アンケートの回収率が本年度は3割弱(26.9%)、昨年度は4割弱(37.7%)と身体に障害のある生徒を受け入れた経験のある高校(または障がい生徒の修学支援に一定の感心を寄せている高校)からの回答が集中した可能性はある。とはいえ、過去に障がい生徒が在籍した高校が、76.3%に上ったのは、昨年の78.9%と同様、高率であった。

### ・Q2 現在、障害のある生徒が在籍

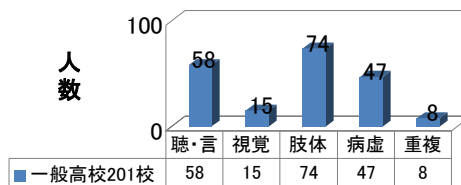
平成21(2009)年度  
106校/211校(50.2%)

平成20(2008)年度  
60校/123校(48.8%)

	一般高校201校 (112校)
聴覚・言語	58(56)
視覚	15(20)
肢体不自由	74(27)
病弱・虚弱	47(68)
重複	8(5)
合計	202(176)

( )内は平成20(2008)年度の数値

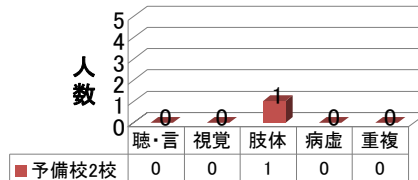
一般高校 障がい生徒在籍数



	予備校2校(3校)
聴覚・言語	0(0)
視覚	0(2)
肢体不自由	1(0)
病弱・虚弱	0(0)
重複	0(0)
合計	1(2)

( )内は平成20(2008)年度の数値

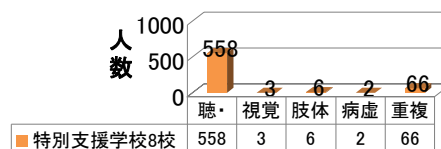
予備校 障がい生徒在籍数

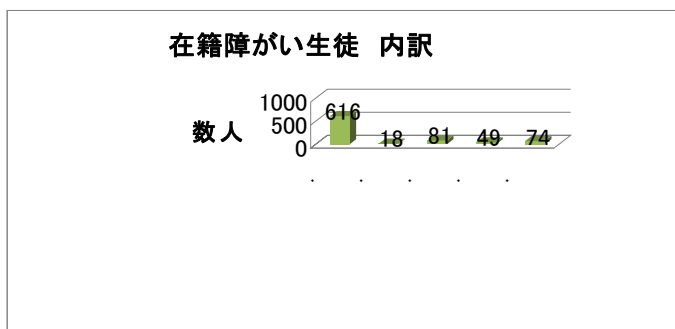


	特別支援学校 8校(8校)
聴覚・言語	558(595)
視覚	3(0)
肢体不自由	6(0)
病弱・虚弱	2(0)
重複	66(123)
合計	718(635)

( )内は平成20(2008)年度の数値

特別支援学校 障がい生徒在籍数



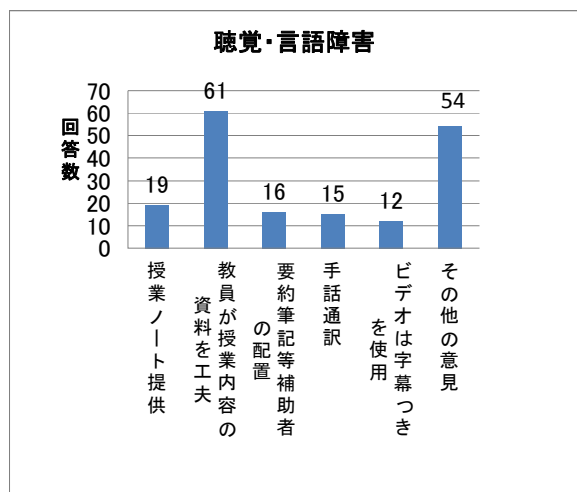


	一般高校 201校(112校)	予備校2校(3校)	特別支援学校8校(8校)	合計
聴覚・言語	58(56)	0(0)	558(595)	616(651)
視覚	15(20)	0(2)	3(0)	18(22)
肢体不自由	74(27)	1(0)	6(0)	81(27)
病弱・虚弱	47(68)	0(0)	2(0)	68(49)
重複	8(5)	0(0)	66(123)	74(128)
合計	202(176)	1(2)	635(718)	838(896)

( )内は平成20(2008)年度の数値

現在障害のある生徒が在籍している高校は、211校中の106校と50.2%に及んだ。昨年度は、123校中の60校(48.8%)。一般高校に限った場合、201校中障がい生徒の在籍する高校は96校で、障がい生徒は202名であった。また障害種別の内訳は、聴覚・言語障害58名(28.7%)、視覚障害15名(7.4%)、肢体不自由74名(36.6%)、病弱・虚弱47名(23.3%)、重複8名(4.0%)となった。ちなみに、日本学生支援機構が実施した「平成20年度 大学・短期大学・高等専門学校における障害学生の修学支援に関する実態調査」の大学における障害種別の在籍率(「発達障害」「その他」を除いて再計算)は、聴覚・言語障害26.0%、視覚障害11.7%、肢体不自由40.5%、病弱・虚弱19.3%、重複2.5%となっている。

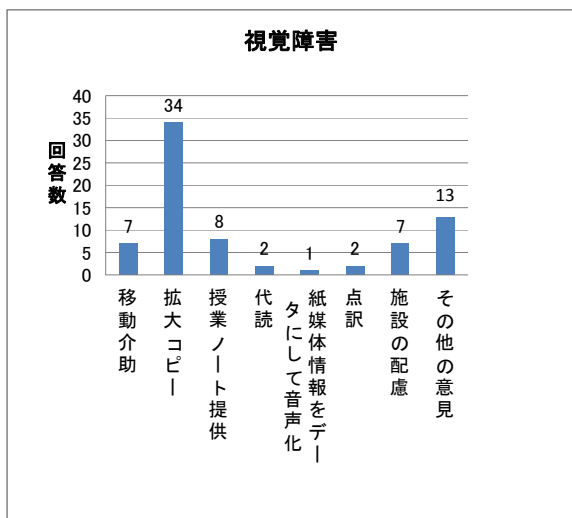
### ・Q3 障害のある生徒に対する支援状況(複数回答可)



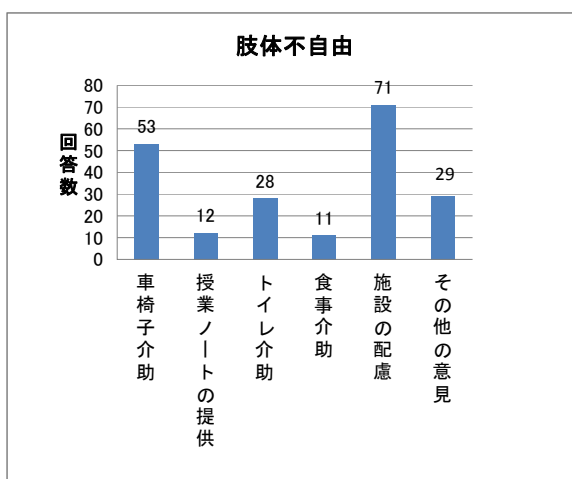
- その他の意見(一般高校)
  - 大型文字試験問題別準備。
  - 車椅子移動補助。
  - FM補聴器の整備活用。
  - 補聴器(教員がピンマイクを付ける)の使用。
  - 体育等の実技の工夫
  - 必要に応じて出席日数の配慮
  - 座席の配慮
  - 生徒が読唇術を使えるよう教員が意識して授業をした。
  - 毎日、保健室に呼び、その日の授業内容で理解できなかったところを確認し、教科担当に指導してもらった。
  - リスニングテストを別室で
  - 介助員のサポート
  - 特別補習
  - 英語ではマンツーマン指導(抽出による)別室で
  - 音声入カソフトを用いたPC利用

- 特別な支援を必要としないか?各学年で常に注意して見守っている。
  - 教室での座席の配置。教員の話し方(ゆっくり、よくわかる発音を心がける)など。
  - 机・いすの脚に防音用テニスボールを付けた。
  - テストの拡大印刷・リスニングテストの免除など
- その他の意見(特別支援学校)
  - 情報機器の活用
  - 視覚教材-パワーポイントなどの活用 パソコン通

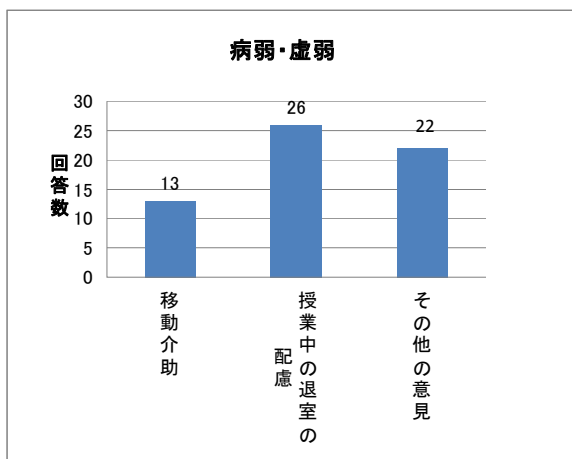
- 特別な支援を必要とはしないか？各学年で常に注意して見守っている。
- 教室での座席の配置。教員の話方(ゆっくり、よくわかる発音を心がける)など。
- 机・いすの脚に防音用テニスボールを付けた。
- テストの拡大印刷・リスニングテストの免除など
- その他の意見(特別支援学校)
  - 情報機器の活用
  - 視覚教材ーパワーポイントなどの活用 パソコン通



- その他の意見(一般高校)
  - 本校での入学試験、定期考査時等において拡大コピーで対応
  - 拡大機の使用、定期テストでの時間延長
  - 弱視の生徒について本人の机上に専用の照明器具を取り付けた。
  - 生徒個人用拡大機器の利用
  - 放課後教員による学習サポート
  - 双眼鏡・ルーペの使用可
  - 座席の配慮
- その他の意見(予備校)
  - 拡大表示機器使用



- その他の意見(一般高校)
  - 該当クラスの教員が担当しやすいように副担2人等にした。
  - 担当する担任の授業時間数の軽減
  - 試験解答用紙等は拡大して配布
  - 障がい生徒のために介護職員が1人常勤
  - 授業等の介助者
  - 教室移動の際の補助係
  - 授業(体育)での教員による補助
  - 教室の配慮
  - エレベータ設置、校内バリアフリー工事、更衣用の専用室の用意等
  - 手摺り等の設置
  - 階段昇降機の設置
  - 学校全体で取り組む体制づくり
  - 極力自力で生活したいという本人の意思を尊重し、洋式トイレの設置にとどめている。



- その他の意見(一般高校)
  - 体育授業配慮
  - 実技系の授業への参加形態の配慮
  - バリアフリー
  - 階段の手すりの設置
  - オストメイトトイレ
  - 移動時、エレベータ優先使用許可
  - 通院による遅刻・欠席についての記録上の配慮等
  - 全校集会、学校行事でのイス設置や参加形態の柔軟な対応
  - 集団訓練等での配慮
  - 欠席時の授業ノートの提供、定期的な保護者との連絡。
  - 特別補習
  - 抽出授業等
  - 大学等受験時の先方への協力要請

【聴覚・言語障害】

教員が授業内容の資料を工夫しているケースが61件と一番多いが、「その他の意見」が54件でこれに次いでいる。その内容は上記で紹介しているが、一般高校においても障害の程度や許された環境の中で様々なサポートがなされている様子がうかがえる。なお、一般高校であっても「授業ノート提供」「ビデオは字幕つきを使用」以外に、「要約筆記等補助者の配置」が16件、「手話通訳」が15件の支援が行われている。

【視覚障害】

「その他の意見」(13件)以外は、「授業ノートの提供」(8件)、「移動介助」(7件)、「施設の配慮」(7件)の順となっているが、「点訳」や「代読」および「紙媒体情報をデータにして音声化」も2件あったことは注目に値する。

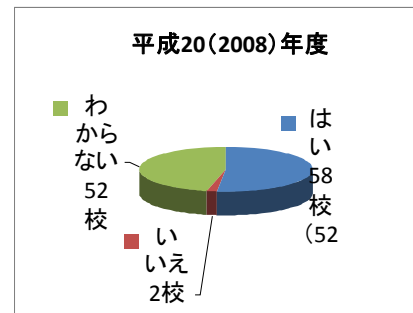
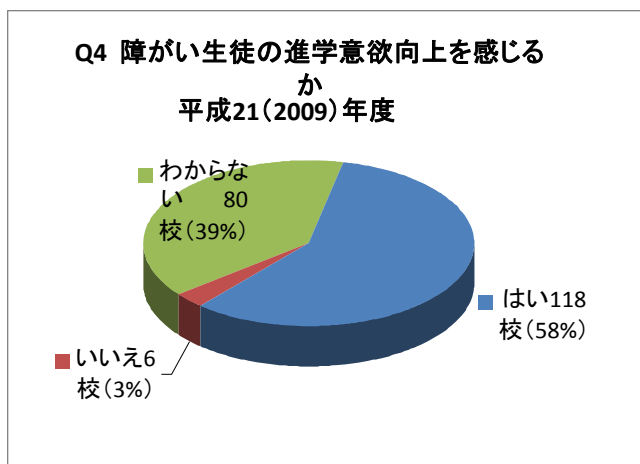
【肢体不自由】

「施設の配慮」(71件)、「車椅子介助」(53件)が多いが、「トイレ介助」(28件)、「食事介助」(11件)まで支援している高校がある。

【病弱・虚弱】

「授業途中の退出の配慮」26件と一番多い。ついで、「その他の意見」が22件と多く、「移動介助」(13件)による対応もあった。

・Q4 近年、障がいのある生徒の進学意欲向上を感じるか



大学への進学意欲向上を感じるとした高校が、58%と、「わからない」「いいえ」をあわせた42%を上回る結果となった。昨年度は、52%で、本年度は昨年度よりもわずかであるが、進学意欲が向上しているといえるのではないだろうか。

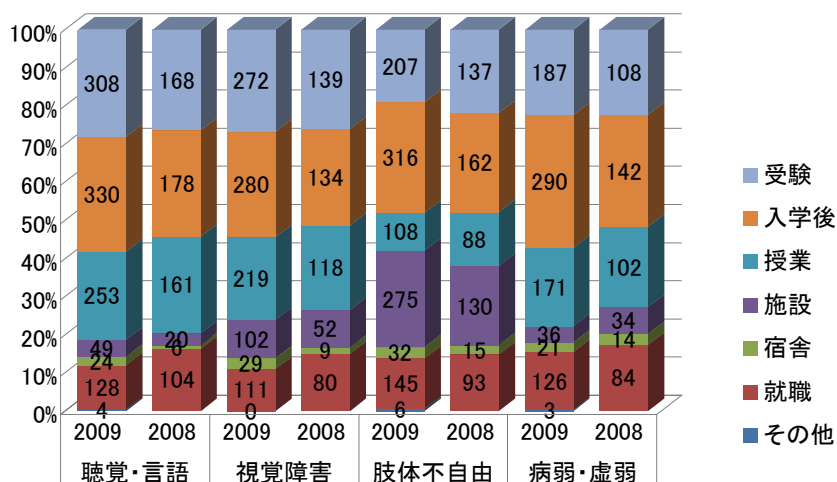
・Q5 障害のある生徒を大学進学させるにあたっての不安はどのようなものか

Q5 不安の大きな順に1・2・3と順位付けしたものを、1位3P、2位2P、3位1Pで換算し、その合計ポイントを表で表したものを

	聴覚・言語	視覚障害	肢体不自由	病弱・虚弱
受験時の条件や配慮の内容	308(168)	272(139)	207(137)	187(108)
入学後の支援体制の有無	330(178)	280(134)	316(162)	290(142)
授業時の配慮	253(161)	219(118)	108(88)	171(102)
施設のバリアフリー状況	49(20)	102(52)	275(130)	36(34)
宿舍の確保	24(6)	29(9)	32(15)	21(14)
就職支援	128(104)	111(80)	145(93)	126(84)
その他	4	0	6	3

( )内は平成20(2008)年度の数値

Q5 障害のある生徒を進学させるにあたっての不安

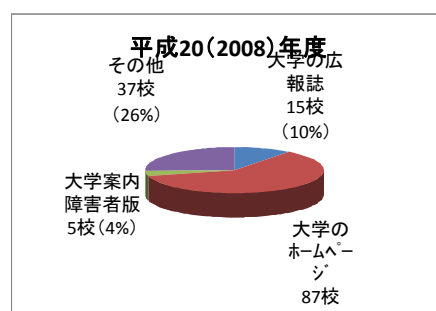
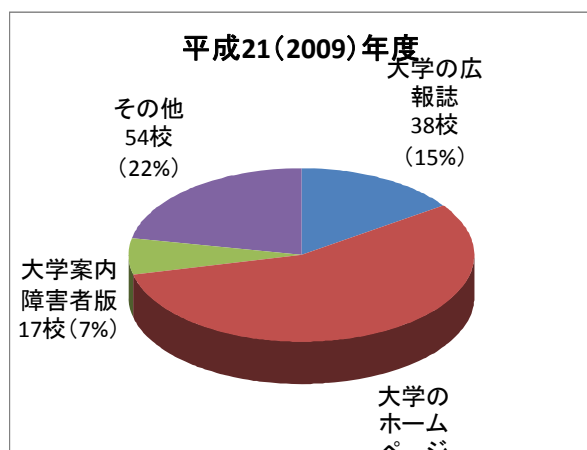


設問では、回答者(高校)が、障害のある生徒を大学に進学させるにあたっての不安要素を、障害の別により不安の大きな順に3つまで選択してもらった。また、上記表の右肩に吹き出しで注釈したように、大学進学にあたっての不安要素をデフォルメできるように、ポイントを重み付けした。

その結果、すべての障害種別において「入学後の支援体制の有無」が総ポイントが一番多い結果となった。

また、上位にランクされなかったものの、すべての障害種別において就職支援が4位にランクされている。この結果は昨年と同様であり、高校側としても大学入学前から卒業後の就職に大きな不安を抱いている様子が見えてくる。

・Q6 進学希望先大学の情報入手はどのようにしているか(複数回答可)



- ※その他の意見
- 大学に直接問い合わせる
  - オープンキャンパス
  - 全国障害者学生支援センターHP
  - 進路関係の大学説明会
  - 盲学校よりの情報
  - 進路指導研究会からの情報
- ☆大学に直接問い合わせるという意見が大半である。

複数回答を可としたが、回答全体の56%にあたる138校が「大学のホームページ」を障害学生支援に関する情報源としていることが明らかになった。「その他」では「直接大学に問い合わせる」が大半を占めた。この結果から、本学を含め障がい学生支援を行っている大学は、受験時の条件や配慮の内容、及び入学後の支援内容を掲げるなどホームページの充実が欠かせないことが浮き彫りになったといえる

また、昨年は、『大学案内障害者版』（全国障害学生支援センター発行）を利用している高校は、5校と特別支援学校のみであったが、本年度は、17校と一般高校でも情報源として『大学案内障害者版』が、浸透しつつあることが伺える。

・Q7 障がい学生支援コーディネーターの存在を知っている

平成21(2009)年度	平成20(2008)年度
<b>86校/211校(41.8%)</b>	43校/123校(35%)

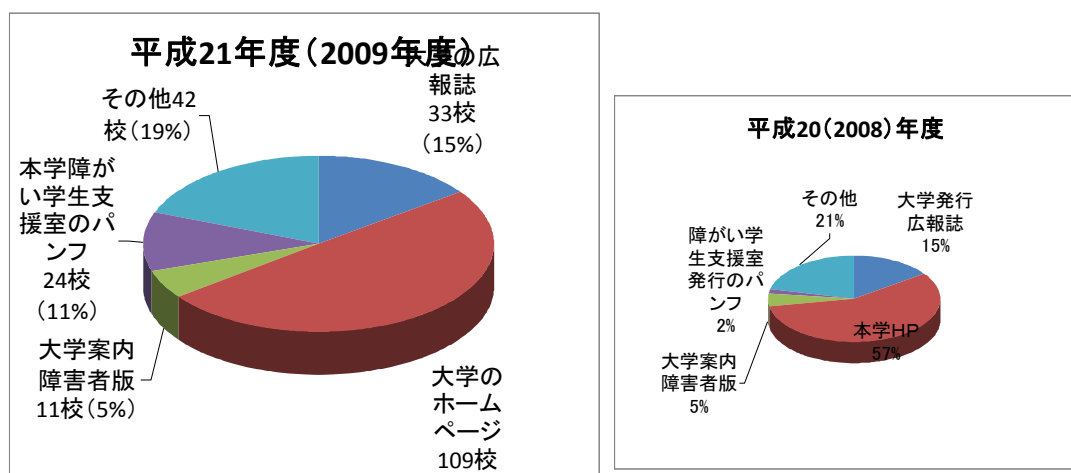
この設問では、大学により障がい学生支援室を設けるなどして、そこに専任の障がい学生支援コーディネーターを配置しているケースへの認知度を調査した。本年度は41.8%、昨年度は35%と昨年度よりは若干、認知度は上がっているようだが、必ずしも高いとはいえない結果となった。

・Q8 障がい学生支援制度に関するパンフレットの存在を知っている

平成21(2009)年度	平成20(2008)年度
<b>66校/211校(31.3%)</b>	26校/123校(21.1%)

大学によって作成されている障がい学生支援関連のパンフレットの認知度は31.3%であった。本年度は昨年度の21.1%よりは、10%程認知度が上がっているものの、Q6とも関連するが、この数字はパンフレットなどを作成している場合、その内容をPDFなどの形式で大学のホームページにも掲載する等の工夫が必要となることを示しているといえる。

- ・Q9 本学に進学を希望する障がい学生に関する情報はどのように入手しているか(複数回答可)



Q9～Q14については、<同志社大学における障がい学生支援に関するお尋ね>とした。本設問はQ6と比較することを意図して設定した。結果は、選択肢の多い順に、「大学ホームページ」、「その他」、「大学の広報誌」と同様の傾向を示した。この結果は、昨年と同様であった。また、本障がい学生支援室のパンフを情報源としている学校が増えたのは、昨年のアンケート送付の効果ではないかと思われる。「その他」では、「貴学希望者がこれまでにないため情報収集していない」、「直接大学(担当者)に問い合わせる」が多く、ごくわずか「進路指導研究会等からの情報」、「講義保障体験に参加させていただいた際の冊子等」があった。

- ・Q10 本学の障がい学生支援コーディネーターの存在を知っている

平成21(2009)年度	平成20(2008)年度
<b>45校/211校(21.3%)</b>	14校/123校(11.5%)

本設問は、Q7と比較することを意図して設定した。Q7(大学全般における障がい学生支援コーディネーターの認知率)が41.8%であったのに対して、昨年度の11.5%を上回ったものの、本年度の本学の認知率は21.3%に止まった。個別大学の障がい学生支援制度や当該業務を担当するコーディネーターの配置の認知度と、日本の大学全般のそれとを一概に比較することはできないが、本学が整えてきた制度と環境に見合う認識をいただくよう、引き続き尽力する必要がある。



## ・Q11 案内パンフレット(本学障がい学生支援制度)の感想

- ・内容は大変よく理解できる。もう少し大型で、カラーの方が見やすく、アピールも出来るのではないかと思います。(滋賀県、公立高校)
- ・障がい種別ごとに支援の内容が書かれているのでとてもわかりやすい。(大阪府、聴覚特別支援学校)
- ・進路指導部にもコピーして回し、担任に周知します。(大阪府、公立高校)
- ・大学ならば学生にスタッフに入ってもらい、障がい学生を支援する体制が作り易いと思うので結構かと思いますが、高校生が関わりを持つ範囲はごくわずかだと思います。個人情報でオープンができない面もあり、教員しか対応できない分野が多いと思います。(大阪府、私立高校)
- ・素晴らしい取り組みだと思いました。貴学のような体制をお持ちだと、生徒を安心して送り出すことができます。(大阪府、私立高校)
- ・コンパクトにまとめてあり、同封のDVDと併わせ、非常によくわかる内容です。(大阪府、私立高校)
- ・「障がい学生支援制度」に対してほとんど関心を持っていなかった点を反省しております。(大阪府、公立高校)
- ・どういう形で大学と学生が関わっていくかが、よくわかります。(大阪府、公立高校)
- ・今後(卒業後)どのような企業に就職していくか記入してほしい。(大阪府、私立高校)
- ・多くのサポートスタッフがおられ、支援活動も多岐にわたっていることを知り、驚くと共に感心しました。また、サポートスタッフの謝礼を大学が全額負担されていることも初めて知り、頼もしく思います。(大阪府、公立高校)
- ・近年、障がいのある人も社会進出がいちじるしく、すばらしい事と感じています。こうしたことから各初等中等教育機関も受け入れのため種々の工夫をしています。大学においてもこうした資料が用意され高校等に周知されることは望ましいと思います。(大阪府、公立高校)
- ・分かり易く出来ていると思う。(大阪府、公立高校)
- ・生活支援に活用したい。(大阪府、公立高校)
- ・事前に支援内容が確認できるので、安心できると思う。(大阪府、私立高校)
- ・障害者へのシステムの援助体制があることに感心した。(大阪府、公立高校)
- ・障がい別に支援活動の内容・種類が記入されておりよくわかりました。障がい学生の声の中で「サポートがあることで一般の学生と同じように大学生活が送れて、自立でき自信がついた」と記入されており、障がい学生がメンタルな面でも充実できている...と感じました。一番大切な事だと思います。(大阪府、私立高校)
- ・学生による支援体制が整っており、障がい学生が安心して学習することができると思いました。(大阪府、私立高校)
- ・障がい学生支援に対して、細かいところまでの対応を準備されているとの印象をもちました。(大阪府、私立高校)
- ・きっちりとやってらっしゃるなあと感心いたします。障がいに関する事意外にもセクハラパワハラアカハラ等の相談窓口や体制についても知りたい。(大阪府、私立高校)
- ・「Challenged」「障がい」という表現など、言葉の問題ですが、意識の高さだと思います。参考になりました。(大阪府、商業高校)

・新しい社会の変化に対し、伝統校であるせいか、反応が鈍い感があったが、新しい試みをされていることを知り、一定の安心感を覚えた。ただ、身体障害以外の障害に対して、どんな対応、サポートをしているのだろうか。(大阪府、公立高校)

・このような取り組みが他の大学にも広まっていけばいいなあと思います。(大阪府、私立高校)

・知らなかった。興味深い取組である。(大阪府、工科高校)

・障害者支援の体制ができています。支援活動の内容がよくわかりました。(大阪府、私立高校)

・簡潔に必要な事項がまとめられており、コンパクトかつわかりやすい内容になっていると思います。ただ、学生の声はもう少し大きくかつ可能ならば実名で乗せた方が、説得力があってよいと思いました。実名、写真は、問題あるのでしょうか。(大阪府、公立高校)

・いろいろフォローを考えておられることがわかりました。私立高校ではエレベーターはあるものの「加配」などできませんので、大学の方が充実していると思いました。(大阪府、公立高校)

・大学として支援体制を整えておられる事が、理解できました。(大阪府、私立高校)

・このようなものが手軽に手に入れば、障がい生徒の進学指導の際、便利だと思う。(大阪府、公立高校)

・支援が充実しており、障がいを持った生徒に自信を持って貴大学の受験が薦められると思いました。(大阪府、私立高校)

・今年の8月に入試の際の配慮等の相談のために貴学に伺った際に、今回同封されていたパンフレットと合わせて教職員のためのガイドパンフレットをいただきました。普段私達が、相談のために大学等に行き、説明している内容がほぼ過不足なく、記載されており、大変嬉しく思います。特に聴覚障害者がどのように見て、聞こえているのかということが、聴覚障害者の視点で書かれているのが良いと思いました。(奈良県、ろう学校)

・障がい者支援制度については、あまり知識がなかったので、パンフレットを見て充実した内容であると感じました。(奈良県、公立高校)

・障がいのある学生に対する支援体制が整備されており、安心できるものであった。(奈良県、公立高校)

・このようなパンフレットが、障がいをもちながら、勉強している多くの高校生の目に触れるといいなと思います。(奈良県、公立高校)

・きめ細かい内容で素晴らしいと感じました。(奈良県、公立高校)

・普段から高校生に「福祉」とは共に幸せを感じることに、辞書的な意味を離れて説明しています。P4を拝見して、その考え方が正しいと再認識しました。(奈良県、公立高校)

・このようなパンフレットが多くの人の目にふれるよう願います。障がいを持つ多くの人々に生きる勇気を与えてくれるものと思います。(奈良県、私立高校)

・10年程前、貴大学を志望する生徒がおり、その時もとても丁寧に対応して下さいました。このような形で冊子を整えていただき、入試の後の気がかりな点が、よりわかりやすくなりました。(奈良県、私立高校)

・大学も変わってきたのだと強く感じる。(奈良県、私立高校)

・「障がい」の捉え方からの説明もあり、大学側の前向きな考え方、組織的、体系的な取組が理解できた。(奈良県、商業高校)

- ・大切なことです。積み上げることでしかできないこともあります。お互いに頑張りましょう。(奈良県、公立高校)
- ・内容はわかりますが、パンフレットはカラー刷りにしていただいた方が見やすいです。(予算の関係があると思いますが...)(兵庫県、公立高校)
- ・サポート内容が、具体的に示されていて、大変わかり易いと感じました。(兵庫県、公立高校)
- ・支援制度が詳しく説明されており、受験生は安心できる。窓口が明示されており具体例が豊富で安心感と信頼感がもてる。(兵庫県、私立高校)
- ・すばらしい。各大学にも必要な取組みであると感じます。(兵庫県、私立高校)
- ・支援制度が詳しく説明されており、受験生は安心できる。窓口が明示されており具体例が豊富で安心感と信頼感がもてる。(兵庫県、私立高校)
- ・すばらしい。各大学にも必要な取組みであると感じます。(兵庫県、私立高校)
- ・わかりやすくていねいに作られていると思います。(兵庫県、公立高校)
- ・中高に比し大学では、学生による組織的な支援が可能であることに感心するとともにうらやましく思った。(兵庫県、私立高校)
- ・このような制度についてはじめて知りました。今後の生徒の進路指導等にかわっていきたいと思います。(兵庫県、公立高校)
- ・障害を持つ生徒の大学進学にあたり、充実したサポート体制があることにより進学後の大学生活に不安がないことが説明できる資料としてありがたいと思いました。(兵庫県、公立高校)
- ・きめ細やかな支援体制であると感じる。大きな大学であるゆえの工夫も必要であると、あらためて気付いた。(兵庫県、私立高校)
- ・支援活動の内容、種類、今後大いに参考にさせていただきます。(兵庫県、工業高校)
- ・支援活動の内容、種類がきめ細かく非常にていねいであり、障がい学生が安心して、大学生活を送れそうであり、温かみのある大学のように思いました。(兵庫県、私立高校)
- ・細く丁寧なご指導・ご支援があり、助かります。(兵庫県、ろう学校)
- ・貴学の支援制度が充実しているがよくわかりました。学生の声が載せられており、簡潔にまとめられていると思います。(兵庫県、公立高校)
- ・学舎の移動が必要になる時がある場合の対策はどのようなものか。大規模大学程、学舎が分散しているので気になる。(兵庫県、公立高校)
- ・高校までは、特別支援の学校でない限り、車イス利用の生徒ぐらいなら在籍していますが、他では、アスペルガー症候群の生徒ぐらいで、支援制度の案内パンフレットも活用すべき対象生徒がいない状況です。(兵庫県、公立高校)
- ・サポートスタッフの学生などを通して、障がい者への認識等が少しでも深まればよいと感じました。いつ頃からこういう制度を始められたのか？私が学生の頃にはなかったように思います。(兵庫県、私立高校)
- ・このような制度があることを存じませんでした。障がいがある生徒にとり、他生徒よりも様々な点で不安が大きいことと思います。こうした制度があることは、生徒にとっても社会にとってもありがたいことだと思います。(兵庫県、公立高校)

・わかりやすくまとめられていると思いました。障害者に配慮した授業(講義)内容や展開事例なども入れていただければと感じました。(兵庫県、聴覚特別支援学校)

・発達障害のことに関しての記述がないのが残念です。広汎性発達障害やアスペルガー等の知的障害を伴わない障害をかかえている生徒が多いのが現状です。このことは、高校・大学とも増加傾向にあり、特に人間関係のバランスをとることが苦手で支援が必要な現状にあります。貴大学にも潜在的に多数、診断を持つ方や疑いの傾向が強い方がおられると推測されます。そうした実態把握をし、支援計画等が示していただければありがたいです。(兵庫県、商業高校)

・貴学では障がいをもった学生の受け入れ並びに支援について熱心に取り組まれている様子がよくわかりました。障がいをもった学生にとり最大の関心事である就職に向けてのキャリアアップを目指せる学内体制を一層お願いするとともに「入学して良かった」「卒業して良かった」と思える学校づくりに今後ともよろしくお願い致します。(兵庫県、公立高校)

・スタッフジャンパーの着用はわかりやすいし、周知にもなり良いと思いました。スタッフの活動を見て支援が全ての学生や教職員に自然に広がると良いですね。(兵庫県、高専)

・このような取組をされていることに、感心しております。素晴らしい取組であると思います。(兵庫県、公立高校)

・障がい学生支援制度が非常に充実していると感じた。(和歌山県、公立高校)

・わかりやすくコンパクトにまとめられています。A4版でカラーの方がさらに見やすく、明るい印象がもてるのではないのでしょうか。(和歌山県、公立高校)

・障害学生支援の最先端をすすんでいる感がある。(和歌山県、ろう学校)

・お世話になる本校卒業生もいるかと思います。よろしくお願い致します。(大阪府、予備校)

・制度が確立されており、充実した支援を受けられるように思いました。(兵庫県、公立高校)

・ここまでのものがあるとは正直知りませんでした。現任校に対象生徒がいないせいもあるかもしれませんが。(前任校には車椅子生徒がいました)。「バリアフリー」とか「ノーマライゼーション」という言葉がもっともっと社会全体に広まって実行してほしいと思っています。サポートスタッフのような学生さんがそういう活動を若い世代に広めてほしいです。(京都府、公立高校)

今回の調査にあたり、通常は入学試験に合格し入学第1次手続者全員に送付している「障がい学生支援制度 案内パンフレット」の内容を一部修正した案内パンフレットを同封した。従来のパンフレットの内容は、従来より大学ホームページの「障がい学生支援制度」の中に掲載しているが、思いのほか目に留まっていない可能性がある。

但し、自由記述欄に掲載された内容からは、①一定程度、本学の制度概要とその理念を周知できた、②障がい学生とそれを支援するスタッフの自律的成長の双方に着目し、そこで得た成果を再びコミュニティに還元させることを目指している、ことが理解されたことがうかがえる。

## ・Q12 DVD(本学障がい学生支援制度の1年)の感想

- ・映像なので具体的な支援の状況がイメージでき、とても参考になります。(京都府、公立高校)
- ・内容はとても分かりやすいのですが、映像のゆれ?がありましてそれがおいしいところです。本校でも教員研修etcに使えるかと思っています。(京都府、公立高校)
- ・障がい学生がいつ入学しても大丈夫なように体制を整えておくべきなのではないでしょうか。実際どれほどの学校ができているのでしょうか?とても参考になりました。(京都府、私立高校)
- ・取り組み内容がよくまとめられていて良い。特に学生たちの生の様子に目を見張った。
- ・聴覚障がいを持っておられる学生のできなことをしてもらおうという姿勢ではなく、自分の出来ることを積極的に取り組んでおられるチャレンジ精神が5年間の同志社在学中にたくましく根付いていることが実感できました。また、合宿の最後に「あなたがたは今日で終わりだけど障がいを持つ私たちは一生障がいと付き合っていかなければならない」ということばに重い人生を感じました。(京都府、公立高校)
- ・障がいをもつ学生支援制度の活動・内容や様子を知ることができた。共生社会をどのようにイメージするのかという一端も見えた。(京都府、公立高校)
- ・いろいろな活動が良く理解できる画像でした。画像がもう少しクリアであればもっとよかったです。(京都府、公立高校)
- ・大学での生活が見てわかるよいDVDだと思います。(滋賀県、ろう学校)
- ・理解しやすく、大変参考になりました。今後も健常学生と対等の条件での教育に期待します。(滋賀県、工業高校)
- ・視覚に訴えられない人にはよい。(滋賀県、農業高校)
- ・安心して利用でき、学びを保障する支援制度が行われていると思いました。(滋賀県、公立高校)
- ・字幕付でしたが、音声があればもっとわかりやすいと思います。(大阪府、聴覚特別支援学校)
- ・映像があれば、活動内容も具体的にわかってよいということがわかりました。また、障がい者が100名を越えているという実像もわかり、それを支えるスタッフが200名ということもわかりました。今後本校生に障がい者が入学してきて、貴大学へ進学を希望した場合、大いに推薦できる大学だということを実感しました。(大阪府、私立高校)
- ・学生の活動状況はよくわかります。ただ、これ程大学として充実した支援体制をとっておられることが少し、画面からは伝わりきれない感があります。(大阪府、私立高校)
- ・学生が自発的に支援に取り組む姿に感動しました。また、障がいのある学生が自分のできる範囲で他の別の障がいをもつ学生の支援をするという姿勢もすばらしいと感じました。(大阪府、公立高校)
- ・有能な学生が数多くいるからこそ成り立っていると思います。自分のことすらままならない若者が多い中で、支援制度がうまく機能していることは稀有だと思います。ノーマライゼーションを本当の意味で進める教育のとりくみだと思います。(大阪府、公立高校)
- ・具体的に解りやすく構成されていて見ていて同志社大学様の障がい者の方への方針がよく理解できました。(大阪府、工科高校)
- ・よく理解できた。生徒指導の資料として使わせて頂きたい。(大阪府、公立高校)
- ・聴覚障がいのある学生が、支援をうけている様子が特によくわかります。(大阪府、私立高校)
- ・映像でみると学生生活が非常にわかり易く、勇気がわいてくると思う。(大阪府、私立高校)

- ・学内や学外での支援活動がよく理解できた。(大阪府、私立高校)
- ・とても勉強になりました。聴覚に障がいをもっておられる院生の方が、一方ではサポートスタッフをなさっていると云うはなしは感動いたしました。(大阪府、商業高校)
- ・実際の取り組みがよくわかり、理解が深まりました。(大阪府、私立高校)
- ・一年間を通して、取り組まれていることがよくわかりました。(大阪府、私立高校)
- ・私の学生時代よりもはるかに理解・支援が充実しているように思いました。私の学生時代は、学生の有志のクラブで点訳サークル等が、視聴覚障害者への支援をしていました。御校では、どうだったのでしょうか。(過去のことですが)(大阪府、公立高校)
- ・手厚い取り組みがよく理解できました。障害者体験はとても貴重な学習機会になるものと思いました。最後に登場した院生のメッセージが力強く感じられました。(大阪府、公立高校)
- ・生徒からの反応が良かったです。やはり心の中に「上手くやっていけるだろうか」「今までずっとろう学校で過ごして来て、急に大学に行って友人はできるだろうか」など授業のことだけでなく、学生生活に対して、不安を抱えている生徒が多いです。そういった生徒にとっていただいたDVDは安心感を与えると同時に将来に対する希望も与えることが出来ました。また、聴覚障害者にとって情報保障がどれだけ大事かということも生徒達に伝えることが出来、大変良いDVDだったと思います。(案外、情報保障に対して知識のないろうの生徒も多いです。ろう学校のように手話のできる教師がいて当たり前と心のどこかで思っている部分がある。)(奈良県、ろう学校)
- ・入学から、順を追って丁寧に説明されており、また、学生のインタビューや生き生きと活動する姿も収められており、これから進学を考える障がいを持つ生徒にとって、勇気付けられる内容だと思います。(奈良県、公立高校)
- ・実際の支援の様子を知ることができ、パンフレット以上に安心できるものであった。(奈良県、公立高校)
- ・challengedキャンプの様子は、ホームルーム等で障がい者問題を扱うときに見せたいと思いました。本校でもアイマスク体験学習などさせていますが、このような学生の活動の紹介は有意義だと思います。(奈良県、公立高校)
- ・貴学の取組が理解できたこと。(奈良県、公立高校)
- ・支援の概要だけでなく、実際の学生たちの活動の様子等もDVDにおさめられていたので、大変参考になった。(奈良県、公立高校)
- ・障害者も健常者もお互いに対等な立場で、活動している様子が感じられました。機器設定の関係か音声が不安定になるようです。チェックしてみてください。(奈良県、私立高校)
- ・ガイドヘルプの存在は、非常に意義があると思う。特に学生スタッフがその任にあたり時給が支給されている点に驚いた。普通はボランティアという意識があったのだが、健常者とのコミュニケーションもふくめ共に学ぶそして高め合うよい取り組みだと(時給を渡すということ)思う。(奈良県、私立高校)
- ・大切なことです。積み上げることでしかできないこともあります。お互いに頑張りましょう。(奈良県、公立高校)
- ・パンフレットよりもDVDの方がよくわかりました。障がいのある学生にとっては、大学への進学意欲がわくDVDだと思います。(兵庫県、公立高校)
- ・貴学の障害者問題に取り組む思いが感じられました。(兵庫県、私立高校)
- ・支援内容がわかり参考になりました。(兵庫県、公立高校)

- ・中高に比し大学では、学生による組織的な支援が可能であることに感心するとともにうらやましく思った。(兵庫県、私立高校)
- ・障がい学生支援室の映像が少し見にくかったです。いろいろな取組をされていることがとても伝わってきました。障害があっても大学の学習支援がしっかりされていてみなさんが意欲的に大学生活を送られているということがよくわかりました。(兵庫県、公立高校)
- ・充実したサポート制度、拝見しました。3日間の障害体験の中で、健常者は「障害体験」から解放されるが、障害者は一生続くという言葉が印象的でした。(兵庫県、工業高校)
- ・細く丁寧なご指導・ご支援があり、助かります。(兵庫県、聴覚特別支援学校)
- ・内容・時間など適切だと思います。(兵庫県、聴覚特別支援学校)
- ・臨場感をもって支援体制の内容を理解することができてよかったです。(兵庫県、私立高校)
- ・年間を通じて障害をもった学生に対するサポート支援の取り組みにより、入学した学生が楽しく充実した学生生活を送っていることに感心しました。また、障がいをもった学生と健常な学生との様々な交流により、相手を思う気持ち、仲間意識が高まってきているように感じました。素晴らしい内容のDVDであり、一人ひとりの学生の「共生の心」へと進んでいくことを期待しています。(兵庫県、公立高校)
- ・生徒に対し、とても参考になると思います。(和歌山県、公立高校)
- ・障がい学生支援の様子がよくわかり、貴学進学を希望している障がい学生にとって不安を取り除くことができる情報源だと思います。多くの障がい学生が貴学でいきいきと学んでいる様子、そして彼らをサポートする学生たちの姿に勇気づけられました。(和歌山県、公立高校)
- ・映像での告知は効果的だと思います。進学に留まらず、広く福祉について考えさせられる思いです。(大阪府、予備校)
- ・音声がないことにおどろきました。字幕付だとは思っていましたが、音声がないと思っていなかったのでびっくりしました。体験の一環でしょうか。(兵庫県、公立高校)

調査依頼時に同封したDVDは、本学障がい学生支援制度による諸取組を、講義保障の場面に限らずキャンパス内での学生生活に枠組みを広げて15分程度に編集したものである。

寄せられた感想を概観すると、文字ベースでは伝えることが困難な内容やニュアンスが、映像ならではの効果として一定程度発揮されていることが読み取れる。とりわけ、障がい学生の生の学生生活の様子にとどまらず、障がい学生の自信に満ちた言動やサポートスタッフとの信頼関係、障がい学生とサポートスタッフ双方の成長まで言及した意見が寄せられていることは幸いである。

## ・Q13 本学の障がい学生支援に関する要望

- ・今後も支援の充実と広報をよろしくお願い致します。(京都府、公立高校)
- ・貴学が実施されている障がい学生支援制度の案内パンフレットを今後も発行していただき、情報発信をお願いしたいと思います。(京都府、私立高校)
- ・進路部とも話し合いましたが、「過敏性大腸炎」の入試支援がされている大学も増えているとか。見落とししていたら申し訳ありませんが、精神神経的なものに対しての入試時の支援のことを考えました。いかがなのでしょう。(京都府、公立高校)
- ・プライバシーを考慮しつつ、多くの人々に理解を求める取組をどんどん進めてほしい。(京都府、公立高校)
- ・障がい学生支援であるが、入学できるレベル等を知りたいと思います。(京都府、公立高校)
- ・京田辺校地に限らず、今出川校地でも同様の取り組みを希望いたします。(滋賀県、工業高校)
- ・このような支援をしていただけるとありがたいです。(滋賀県、商業高校)
- ・特別支援の生徒への支援はあるか。(滋賀県、農業高校)
- ・本校では発達障害に関する生徒の支援を研究しています。文部科学省教育研究開発学級(平成21・22・23年度)指定。大学進学を希望する生徒の引きつぎの例も出てきました。窓口がはっきりしていることは大変ありがたいですし、今後のニーズも多くなると思いますので、発達障害系の学生の支援についても対応と連携をよろしくお願いします。(京都府、公立高校)
- ・一般入試に耐えうる学生でなければ、入学は難しいと思いますが、特別枠があれば、その点を明らかにしてもらえれば有難いことです。(大阪府、私立高校)
- ・今春、本校を卒業した生徒も、貴学にお世話になっております。大変充実した支援プログラムに驚いています。貴学の取り組みが全国の大学のモデルとなり、日本全体の学校での支援プログラムの充実に発展することを願っています。(大阪府、私立高校)
- ・就職状況や、4年間に障がいが悪化するような場合の支援はどうなっているのか気になりました。(大阪府、公立高校)
- ・サポートスタッフに対する様々な優遇処置をしてあげてください。(大阪府、公立高校)
- ・学校案内の中に「障がいのある学生支援センター・支援課」の説明文等を掲載して頂きたい。(大阪府、公立高校)
- ・障がいの度合、状態は1人1人異なることが多く、できる限り個々の障がいに応じた入試をしていただけてますように。(大阪府、私立高校)
- ・小中学校にて特別支援教室で介助員をしておりました。障がい者を持つ親御さん達は、どの方も自分の子供の将来を心配されております。健全な方と同じように学べる環境作りが一番大切だと思いますし、学力を向上させる事によって、その子の将来も選択肢が広がり、就業につながると思います。その子の将来を考えた取り組み、個別対応が大切かと思います。(大阪府、私立高校)
- ・今後とも情報発信を期待します。(大阪府、私立高校)
- ・発達障害についての取り組みなども知りたい。(大阪府、公立高校)
- ・今まで全くと言っていいほど考えたことがございませんでした。参考になりました。(大阪府、商業高校)



・大阪府(市)で始まっている「自立支援コース」(知的障害)の体制と大学で始まりつつある障がい者支援で何かとヒントを得られればとは考えております。(大阪府、工業高校)

・①今回のアンケートで、「発達障害」を除く、とあるのは理解に苦しみます。私達高等学校では、「発達障害」を有する生徒も入学していますし、学習会等も御校のアンケートには「発達障害」を有する生徒等への項目が含まれていないのでしょうか。※重度の生徒は支援学校へ行っています。②Q4の質問の意図はどのようなことでしょうか。従来から障害はあっても進学したい生徒は沢山いたと思われます。近年、にわかに強まったわけではありません。今まで、大学側の制約があって入学できなかっただけではないでしょうか。(大阪府、公立高校)

・貴学と関西学院の両大学が中心となって学生支援に尽力されていることを大変心強く感じております。私自身、同志社の卒業生ですので母校の取り組みに誇りを感じております。また、今後のより一層の取り組み充実を望みます。(大阪府、公立高校)

・努力されている障がい者の方をどうぞ伸ばして下さい。私どものほうとしましては、そういう学生さんが、生徒に近い目線でお話していただける機会があればと思います。本校には福祉科もありますので、心から思います。(大阪府、公立高校)

・貴学で取り組んでいらっしゃる障がい学生支援制度について、他大学などと連携して取り組みや理解の輪をひろげるような活動もしてほしい。制度は出来ているが職員の方々の理解が追いついていない感じを受けることが多い。現在の活動の様子やサポートを受けている学生の生の声をもっと聞かせてほしい。(奈良県、ろう学校)

・こういった形で応援していただければ、生徒たちも展望がもててありがたいです。(奈良県、公立高校)

・他の大学にも同様の保障が障がい学生にされるように、リーダー的役割を果たしていただければ、どんなにいいことかと思えます。(奈良県、公立高校)

・まだまだ障がいを持つ高校生は、サポート体制の有無や内容で進学先を選んでいるように思います。(奈良県、公立高校)

・他大学にも、同様の取り組みを広げて下さるよう働きかけて下さればと思います。(奈良県、私立高校)

・継続してください。お願いします。(奈良県、公立高校)

・ぜひ、「障がい学生支援制度」を今後も充実させていってください。(兵庫県、公立高校)

・障害学生の立場に立った様々なサービスや支援活動の促進(兵庫県、私立高校)

・阪大では個別に対応していると言う話を聞いたことがあります。よろしくお願いします。(兵庫県、公立高校)

・個人的意見ですが、こういうことはどこまでやれば充分というものではありませんのでそういう意味から言うとは素晴らしい支援体制だと思います。(兵庫県、私立高校)

・こうした支援の取りくみが、他大学にもネットワークで広げていって下さることを期待しております。(兵庫県、公立高校)

・下記Q14の授業体験について 可能ならば夏季休業中ばどに実施していただければ参加しやすいのですが(兵庫県、聴覚特別支援学校)

・関西では、貴大学と関学が障害者の支援の中心とした大学で拠点校ということをお聞きしています。他大学へのネットワークを広げていく構想がおありかどうかおたずねしたい。高等学校に在籍でかつ療育手帳を所持してAの生徒の指定校・公募性推薦はありませんか？(兵庫県、商業高校)

・①障がいをもった学生と健常者の学生との交流を積極的に進めてほしいと思います。②今後ともCARE「思いやり」の心、共生の心をもった学生づくりに尽力して下さい。③一人ひとりの個性・能力の伸長に努めて下さい。(兵庫県、公立高校)

・普通高校における障害者支援は主に発達障害であり、学力の高い生徒は、今後大学に進む可能性は大いにある。そのような生徒の支援についてはどうなっているのかを知りたい。このアンケートは、それに触れられていないので私達の抱える問題とのズレを感じた。(兵庫県、公立高校)

・出口の部分、就職がどうなっているか等の情報もパンフレットに掲載して頂きたい。(和歌山県、公立高校)

・就職支援について概要をお教えいただきたい。(和歌山県、ろう学校)

・全国の模範となられますよう、今後ともご活躍されますことをお祈り申し上げます。(大阪府、予備校)

・就職支援のことについても詳しく知りたいと思いました。(兵庫県、公立高校)

自由記述方式の最後の設問として、「本学の障がい学生支援に関する要望」を記入いただいた。寄せられた意見は、「発達障害の障がい支援の取組の充実」、「他大学との連携」、「障がいに応じた入試の在り方」、「今後の支援の充実と広報」など多岐に及んでいる。

#### ・Q14 本学基礎・教養科目への陪席による講義保障体験に関心がある

平成21(2009)年度	平成20(2008)年度
103校/211校(48.8%)	47校/123校(38.2%)

基本調査依頼とともに「同志社大学における講義保障体験(授業体験)の申し出について(ご案内)」を同封し、関心の有無を問うた。

基本アンケートが回収できた211校中、103校(48.8%)より「関心あり」との回答が寄せられた。昨年の結果と比較すると10%も率が増加し、本年度は約半数の学校が関心を示している。このことは、予想を上回る結果であり、本大学の講義保障体験に対する理解と期待が示された数字と理解できる。

#### ・Q15 日本学生支援機構による情報提供を知っている

平成21(2009)年度	平成20(2008)年度
39校/211校(18.5%)	15校/123校(12.2%)

Q15、Q16は、<その他、関連するお尋ね>として設問を掲げた。本設問では、日本学生支援機構(JASSO)特別支援課が行っている大学等における障がい学生修学支援に関する情報提供についての認知度を調査した。「知っている」との回答は、211校中、39校(18.5%)であった。昨年度は123校中15校(12.2%)であったのと比較しても若干増加したものの、認知度が上がったとはいえない結果となった。

JASSOによる諸取組は、主として「高等教育機関における障がい学生修学支援情報」に的が当てられてはいるものの、高等学校等関係者にとっても、各大学の取組状況や動向、あるべき方向性などの情報が豊富に掲載されており、今回調査票にURLも掲げたので、今後必要に応じて参考にしていただくことを期待する。

・Q16 日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワークを知っている

平成21(2009)年度	平成20(2008)年度
38校/211校(18.0%)	26校/123校(21.1%)

筑波技術大学が推進母体となった「日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク」(PEPNet-Japan)の大学等における聴覚障がい学生支援制度体制確立と支援ネットワーク形成についての認知度を問うた。「知っている」との回答は211校中、38校(18.0%)であった。昨年度は、123校中26校(21.1%)で、本年度と比較すると認知度は、全く増加傾向にはない。

PEPNet-Japanの取組においては聴覚障がい学生への特化した支援に焦点が絞られている。今回調査対象とした特別支援学校(聾学校が中心)において認知度が高く、一般高校および予備校におけるそれは、JASSOとほぼ同じであった。JASSOの取組同様、これを機に高等学校関係者にもPEPNet-Japanがホームページを通じて発信する豊富な情報に、必要に応じて触れていただきたい。